

キーワード

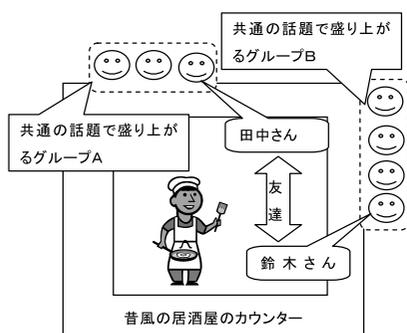
SNS

(ソーシャル・ネットワーク・サービス)

石川県立金沢泉丘高等学校教諭 鹿野 利春

1. SNSと居酒屋文化

初めてSNSと聞くと難しい言葉のように聞こえるが、これは古き良き日本の居酒屋文化に似ている。



ここで、グループAは一緒に飲みに行く気のあった仲間とする。グループA以外の人は誘われなければ、この仲間に加わることはできない。グループBも同様である。ここで田中さんと鈴木さんが友人だったとすると、お互いのグループの人は田中さんと鈴木さんを通じて知り合いになる。次からは「田中さんの友人の」、「鈴木さんの友人の」ということで交友を深め、新たなグループCが生まれる可能性もある。

各グループでは、なごやかで穏やかな人間関係が形成され、慰めや励まし、言葉になりにくい情報がやり取りされ、感情までもが共有されていく。

ソーシャル・ネットワーク・サービスとは、このような仕組みをインターネット上に作りあげたものと考えてよい。前置きが長くなったが、ここでSNSの要点を整理しよう（一部例外もある）。

1. 招待がなければグループに参加できない。
2. 参加者はお互いのプロフィールを公開。
3. 穏やかなコミュニティを形成。
4. 知り合いの輪が広がる。

2. SNSの運営

会員の紹介がなければ入会できないシステムは、高級料亭の「一見さんお断り」などのように昔からあった。これらは、コミュニティの質を保ち、よりよく発展させるための先人の知恵であり、SNSは、この考え方に基づいて運営されている。また、オフ会と称するオフラインミーティングが行われることも多く、これがお互いの信頼を増強する。

SNSは、2003年にアメリカで誕生し、翌年には日本で開始されている。日本ではGREE（グリー）やMixi（ミクシィ）が有名である。Mixiは2006年9月14日に東証マザーズに上場している。

3. SNSを構築する技術

SNSは次のような技術を組み合わせて作られている（アクセス管理もしっかり行われている）。

(1) インスタントメッセージング

アドレスを入力せず、簡単にメールを出す機能。

(2) ブログ

HTML言語を知らなくても、簡単に作成できて日記風を書くことができるWebページ。トラックバックという形で相互にリンクをはり、読んだ人がコメントを書くことによって、1つのコミュニティを形成することができる。閲覧に制限を設けたり、閲覧の履歴を残したりすることもできる。

(3) Wiki

複数の人で簡単に編集することができるWebページ。

(4) RSS (RDF Site Summary)

SNSでは外部のブログの内容を取り込む目的で使われることが多い。複数の規格が存在する。

(5) プロフィール管理

プロフィールの公開だけでなく、自分の友達リストの管理と公開を行うこともできる。

ノウハウよりノウフーが重要な世の中である。お互いに友人を紹介しあうことで、幅広い人脈を築き、自分の世界を広げていきたい。